

西館 快速球が武器

青森県、岩手県北関係 10人プロ志望届



中澤恒貴

プロ野球のドラフト会議で、青森県、岩手県北関係では高校生と大学生計10人がプロ志望届を提出した。最速155キロを誇る中大の

本格派右腕・西館勇陽（一戸町出身）は完成度が高く、即戦力の期待が懸かる。

高校生は、八学光星の中澤恒貴内野手、弘前工の成田晴風投手、東義の外崎隼仁外野手、青森山田の三浦遼大投手の計4人。

八学光星で主将を務めた中澤は、広角に打てる技術と長打力が武器。1年秋からレギュラーを勝ち取り、2年時に夏の甲子園を経験した。2年連続出場となった今夏の甲子園では、3番遊撃手として8強入りに貢献した。東京都出身。

成田は大罎中卒で、最速150キロの直球が持ち味の右腕。今夏の青森大会では、主戦として2回戦の八学光星戦に先発した。八回途中で11失点を喫して敗れたが、力負けせずに強力打線から9三振を奪い、潜在能力の高さを示した。

大学生では西館のほか、中央学院大の下山昂大内野手（弘前市出身、八学光星高出）、青森大の庄司陽斗投手、青中大の平間優希、林下玲而投手、東京国際大の堀岡俊人投手（青森山田高出）が志望届を出した。

西館は花巻東高（岩手）時代に甲子園へ春夏計3度出場。快速球を武器に多彩な変化球も操る。3年秋の東都大学リーグ1部では、5勝1敗でベストナインを獲得した。

このほか社会人では、古屋敷匠真投手（工大一高―法大卒、セガサミー）らが指名を待つ。（千葉達也）